



PW MTFS

仕様説明書

EA Ver1.23 / インジケーター Ver1.09 (マニュアル改訂 1.23-01)

発行: EA Designer Kuu 2026 年 7 月

PW MTFS は、PW MTF3 の運用経験をもとに「軽さ」と「操作のシンプルさ」を最優先に設計し直した、完全新規開発のサインツール+裁量売買パネルです。MTF3 の改良版ではなく、確定足サインの考え方だけを引き継いでゼロから書き直しています。

第 1 部 PW MTF3 のコンセプト

1. 何のために作り直したのか

- **軽量化:** インジケーター・EA とともに完全新規コード。過去バージョンで積み重なった機能をすべて取り払い、必要最小限だけを実装しています。チャートの重さ・フリーズの原因を構造から排除しました。
- **シンプルな大型パネル:** パネルはタイトル・時計・Risk/Buy/Sell・All Close・インジ表示の 5 要素のみ。ボタンを大型化し、スマートフォンから VPS にログインした状態でも押し間違いなく操作できます。
- **確定足サイン:** サインはすべて確定した足だけで判定します。一度表示されたサインは消えたり動いたりしません（リペイントなし）。

2. MTF3 との違い（重要）

PW MTF3 は MTF3 の後継ではなく、並行する新シリーズです。次の点にご注意ください。

- 完全に新しいコードのため、MTF3 と同じ場面でも表示されるサインは完全には一致しません
- Ver1.06 から自動売買（Auto）を搭載。裁量パネルと自動売買を 1 つの EA で切り替えて使えます
- MTF3 で検証済みの原則（確定足判定・出来高フィルター・押し目 2 回制限・方向整合・往復ビンタ抑制）は、新コードに組み込み済みです

3. 推奨時間足

【裁量で使う場合】チャートに表示されるサインは、そのチャートの時間足で計算されます。2 年分のデータ検証（下位足 7 種×上位足 9 種の全組み合わせ）で最も安定していたのは M3（3 分足）で、M3 チャートでの使用を推奨します。

【Auto で使う場合】Ver1.19 から、Auto の売買判定に使う時間足は EA 内部で固定されています。表示しているチャートの時間足に関係なく、サイン判定は必ず M3（3 分足）、上位足フィルターは必ず M15（15 分足）です。チャートを M1 や H1 にしていても Auto の動作は変わりません。

4. サインの種類

サイン	表示	意味
トレンド買い	マゼンタの上矢印	上昇レグの開始点に 1 回だけ表示。MTF3 と同じ形状・色
トレンド売り	ドッジブルーの下矢印	下降レグの開始点に 1 回だけ表示
押し目買い	マゼンタのドット	トレンド買いの後にのみ表示。同じレグの中で最大 2 回
戻り売り	ドッジブルーのドット	トレンド売りの後にのみ表示。同じレグの中で最大 2 回

チャートに表示されるライン

ライン	表示	意味
高値ライン	マゼンタ（幅 2）	直近 60 本の最高値。旧シリーズと同じパラメーター
安値ライン	ドッジブルー（幅 2）	直近 60 本の最安値
半値ライン	白（幅 5・太線）	高値と安値の中間。押し目・戻りの目安
アリゲーター	青（幅 5）・赤・緑の 3 本	トレンドの向きと強さ。青が最も長期の Jaws 線

サインは「トレンド 1 回 → 追従最大 2 回」の順序が構造的に保証されており、1 本の足に複数のサインが混在することはありません。さらに Ver1.03 から、トレンドサインは必ず買い→売り→買い…と交互に表示されます。反対方向のトレンドサインを挟まない限り、同じ方向のトレンドサインが繰り返し出ることはありません。

サインが出ない場面も仕様です: 出来高が平均以下の足、反対サインの直後 15 本、同じ流れの 3 回目以降の追従、アリゲーターの並びと逆方向の場面では表示されません。アリゲーターの並びが一時的に崩れると追従サインは休止しますが、同じ方向の並びが復活すればサインの供給は自動的に再開されます（Ver1.08、同じ流れの中で最大 2 回の上限は通算）。またトレンドサインの直後 5 本以内には追従サインは出ません（近接サインの防止）。

第2部 パネルの使い方とパラメーター



図: 操作パネルの各部 (番号は本文の説明に対応)

1. パネル各部の説明

要素	動作
タイトル (PW MTFS Ver1.23 ▲/▼)	タップするとパネルを折りたたんでタイトルだけの表示に切替。チャートが再描画され、パネル上に残った古い描画 (サインの痕跡など) もリセットされます。もう一度タップで復帰
Auto ボタン	自動売買の ON/OFF 切替。OFF=黒背景に白文字「Auto OFF」、ON=赤背景に白文字「Auto ON (M3/M15)」。状態は MT5 再起動後も記憶されます
時計	秒針付きデジタル時計。ローカル時刻/サーバー時刻、12 時間/24 時間表示を設定で選択
-/+ ボタン	リスク%を 0.1 刻みで増減 (下限 0.1%~上限 5.0%)。例: 2.0%から - を 1 回押すと 1.9%
Risk 表示 (中央)	現在のリスク%と計算されたロット数を表示。タップすると初期値 (1.0%) に戻ります
Buy / Sell	表示中のロットで成行エントリー。BUY=マゼンタ、SELL=アクアの塗り背景に黒文字の大型ボタンで、パネル内で最も目立つ配色にして押し間違いを防いでいます。エントリーすると 3 本の点線 (緑=平均建値/赤=損切り/青=利確) が表示されます。詳しくは「2. SL/TP ライン (3 本の点線) の仕組み」をご覧ください。

Buy n.n ±金額 Buy Close	左: 現在のロング保有数。中央: ロング側だけの含み損益（スワップ込み・カンマ区切り、益=緑／損=赤、1 秒毎更新）。右: Buy Close ボタンでロングのみを即時全決済します（ショートは残ります）
Sell n.n ±金額 Sell Close	左: 現在のショート保有数。中央: ショート側だけの含み損益（スワップ込み）。右: Sell Close ボタンでショートのみを即時全決済します（ロングは残ります）
損益表示	本 EA のポジション合計の含み損益。含み益は「+10,000 JPY」のようにライムグリーン、含み損は「-10,000 JPY」のように赤で表示（1 秒毎更新）。Buy 行・Sell 行の金額と合計は円単位に丸めたくえで合算しているため、画面上で常に「Buy+Sell=合計」が一致します（Ver1.23）
All Close	1 タップで即時全決済。決済注文を一斉送信する最速方式で、本 EA の全ポジションを閉じます（取り残しは自動で再試行）
Force Losscut 表示	強制ロスカットの設定値を常時表示。本 EA のポジション合計の含み損が口座残高比でこの%（初期値 10%）に達すると全ポジションを自動決済します
Indi 表示	ペアのインジケータ（MTFS indicators Ver1.09）がチャートにあるかを表示。Auto のサイン読取にも必須です
- / UI / +（最下段）	パネル全体を 0.1 刻みで拡大・縮小（0.5～3.0 倍）。VPS やスマホの画面に合わせてサイズ調整できます。中央の UI 表示をタップすると初期倍率に戻ります
MTF 方向表示（右列）	M1 / M5 / M15 / H1 / H4 / D1 の各時間足で本製品のトレンドサインロジックを評価し、最後のトレンドサインの向きを UP（マゼンタ） / Down（ブルー）で表示します。目安の表示であり、売買を縛るフィルターではありません。各時間足の足が確定したときだけ更新されます

2. SL/TP ライン（3 本の点線）の仕組み

ポジションを持つと、チャートに 3 本の点線が表示されます。緑＝エントリー（平均建値）、赤＝損切りライン、青＝利確ラインです。TakeProfitPips が 0（初期設定）のときは青の TP ラインは表示されません。

■ 平均建値への自動追従

同じ方向にポジションを追加（ナンピン）すると、3 本のラインは全ポジションの数量加重平均価格を基準に再計算され、まとめて移動します。例えば 4,000 ドルで 1 本目を買ひ、3,990 ドルで 2 本目を買うと平均は 3,995 ドルになり、損切りラインは「3,995 ドル－設定幅」の位置へ移動します。何本追加しても同じ計算です。ラインが動くと同時に、すべてのポジションの SL/TP もその価格へ揃えられます（Ver1.22 で全ポジションに確実に適用されるよう修正しました）。

■ 手動で動かした場合（重要）

赤や青の点線はマウスでドラッグして自由に動かせます。動かした瞬間に自動計算は解除され、以降そのラインは固定されます。ポジションをいくら追加しても、平均建値が変わっても、ラインは動きません。追加したポジションの SL/TP も固定したライン価格に合わせられます。もう一度ドラッグすれば何度でも位置を変更できます。ブレイクイーブン（建値）への SL 移動や、手動でのトレーリングに使えます。

固定が解除されるのは次の 2 つの場合だけです。①もう一度ドラッグしたとき（新しい位置で再固定）②すべてのポジションを決済したとき（ラインが消え、次のエントリーから自動計算に戻ります）。損切りラインと利確ラインは別々に管理されるので、「損切りだけ手動固定、利確は自動追従」といった使い方もできます。

■ ラインに価格が到達したとき

赤または青のラインに価格が触れると、EA が本数に関係なくすべてのポジションを即時決済します。自動売買で建てたポジションも一緒に決済されます。ブローカー側の SL/TP も保険として同じ価格に設定されているため、パソコンや MT5 が停止していても損切りは機能します。

■ 自動売買（Auto）で建てたポジションとの違い

Auto が建てたポジションのブローカー SL は、平均建値ではなく「そのポジションのエントリー価格から 1500pips」の個別設定です（バックテストと同じ条件を再現するためです）。統一ラインへ揃えられるのは裁量で建てたポジションのみですが、ラインに価格が到達したときの全決済は Auto のポジションにも効きます。

■ 表示についての補足

EA を適用すると MT5 標準の取引レベル線は自動的に非表示になり、チャート上の SL/TP 線は EA の点線だけになります（EA をチャートから外すと元に戻ります）。点線は常に選択された状態に保たれるため、ダブルクリックせずそのままドラッグできます。ラインを動かすとエキスパートログに「手動固定」と記録されます。

3. ロット計算のしくみ

ロットは「口座残高 × リスク% ÷ SL 幅で発生する 1 ロットあたりの損失額」で自動計算されます。例: 残高 100 万円・リスク 1%・SL 幅 1500pips なら、SL に到達したときの損失が約 1 万円になるロットが選ばれます。SL 幅を 0 にした場合は固定ロット（初期値 0.10）が使われます。

4. EA の主要パラメーター

パラメーター	初期値	意味
RiskDefault	1.0	起動時のリスク%（Risk 表示タップでこの値に戻る）
RiskStep	0.1	－／＋ボタン 1 回あたりの増減幅
RiskMin ／ RiskMax	0.1 ／	リスク%の下限・上限

	5.0	
StopLossPips	1500	全注文に付く保険 SL の幅（初期 1500pips）。2 年検証の最適値です。急変動・回線切断時に口座を守る保険
TakeProfitPips	0	ブローカーTP 幅（初期 0=TP なし）。2 年検証では TP なしが最良で、Auto の利確は収穫決済が担当します。固定 TP が必要な場合のみ設定してください（小さすぎる TP は成績を悪化させます）
FixedLot	0.10	SL=0 のときの固定ロット
MaxLot	5.0	最大ロット（安全上限）
LosscutPercent	10.0	本 EA のポジション合計の含み損が残高比でこの%に達したら全決済（0=無効）
PanelScale	1.0	パネル倍率の初期値。パネル最下段の－／＋で変更でき、変更後のサイズは MT5 を再起動しても記憶されます
Clock12Hour	true	時計を 12 時間表示（AM/PM 付き）
ClockUseLocal	true	時計は PC のローカル時刻（false=サーバー時刻）
ShowEntryLine	true	エントリー（平均建値）ラインの表示。緑の点線で平均建値に表示され、ポジション追加で自動追従します
SyncBrokerStops	true	ブローカーSL/TP を平均建値へ同期するか。安全のため OFF にもできます（OFF でも EA の点線とライン到達での全決済は機能します）

5. 自動売買（Auto）の仕様

Auto（自動売買モード）の仕組み



Auto ON（赤背景・「Auto ON (M3/M15)」表示）で開始

- **時間足は内部で自動固定（Ver1.19以降）**
表示チャートがM1でもH1でも関係なく、サイン判定は必ず M3（3分足）、上位足フィルターは必ず M15。
2年検証で最も安定した組み合わせを常に再現します。
- **エントリー**
M3の確定足で押し目買い・戻り売りサインが出て、かつM15のアリゲーターが同方向に整列しているとき。
- **決済(3つのいずれか)**
①収穫決済＝M3直近60本の高値/安値を更新かつ平均利益100pips以上 ②M3で反対トレンドサイン ③ブローカーSL（初期1500pips）
- **ロット**
パネルのRisk%と同じ計算（残高×Risk%÷SL幅）。
残高に応じて自動増減する複利です。
- **裁量ポジションとの関係**
Auto中の手動BUY/SELLも同じバスケットとして扱われ、
収穫決済・反対サイン決済・ライン到達時には
自動・裁量の区別なく同方向を全て同時決済します。

図: Auto（自動売買モード）の仕組み

Auto を ON にすると、EA が内部で M3（3 分足）のサインを読み取って自動売買します。表示中のチャートが何分足であっても、Auto は常に M3 のサインと M15 の上位足フィルターで動作します（Ver1.19 で内部固定）。Auto ボタンの表示も「Auto ON (M3/M15)」となり、どの時間足で判定しているかが一目で分かります。

- ・ **エントリー:** M3（3 分足）の確定した足で押し目買い・戻り売りサインが出て、かつ上位足 M15 のアリゲーターが同方向に整列しているときだけ執行します（逆方向・不整列なら見送り）
- ・ **決済:** ①収穫決済＝直近 60 本の高値（買い）/安値（売り）を価格が更新し、かつ平均利益が 100pips 以上のとき全決済 ②反対のトレンドサインが確定したとき決済 ③全注文に付くブローカーSL（初期 1500pips）
- ・ **ロットと手動操作:** ロットはパネルのリスク%設定と同じ計算です。Auto 中も手動の Buy/Sell/All Close は通常どおり使えます

バックテスト: ストラテジーテスターでは Auto は自動的に ON になります（ボタン操作が不要）。テスト前にインジケーター（PW_MTFS_indicators_Ver1.09）をコンパイルして ex5 を作成しておいてください。モデルは「リアルティックに基づいた全ティック」を推奨します。

Auto 中に裁量でポジションを追加した場合: パネルの Buy/Sell も Auto のエントリーも同じ管

理番号で扱われるため、両者は 1 つのバスケットとして統合されます。SL/TP ラインは全ポジションの数量加重平均で再計算され、収獲決済・反対トレンドサインでの決済・ライン到達での決済は、自動か裁量かの区別なく同じ方向のポジションを一度に全て決済します。裁量分だけを残したい場合は Auto を OFF にしてから追加してください。

重要: この自動売買ロジックは 2 年分の過去データによる近似検証（ティック内約定・スワップ非再現、バー区切り位置への感度あり）に基づくもので、実運用での優位性はまだ確認されていません。必ずデモ口座または少額でのフォワードテストから開始してください。

6. 設定の記憶

UI サイズ・リスク%・パネルの折りたたみ状態は、変更するたびに自動保存され、MT5 を再起動しても前回の状態が復元されます。初期状態に戻したい場合は、Risk 表示・UI 表示それぞれの中央ボタンをタップしてください。

7. 導入手順

手順	内容
1	インジ (PW_MTFS_indicators_Ver1.09) を MQL5¥Indicators へ、EA (PW_MTFS_EA_Ver1_23) を MQL5¥Experts へ入れ、MT5 を再起動
2	XAUUSD のチャートに、先にインジ、次に EA を適用し、自動売買ボタンを ON (パネル操作に必要)。裁量でサインを見る場合は M3 チャートを推奨します (Auto の判定時間足はチャートに関係なく M3/M15 固定です)
3	パネルの Indi 表示が「Indi: MTFS Ver1.09」になっていることを確認
4	最初のエントリーで、ポジションに S/L 価格が入っていることを確認

8. 口座認証について

本製品には口座認証が組み込まれており、登録された口座番号の MT5 でのみ動作します。未登録の口座で起動すると、チャート左上に「PW MTFS 口座認証エラー: この口座では使用できません」と口座番号付きで表示され、インジケーター・EA は停止します。口座の追加・変更をご希望の場合は、実際に使用する口座番号を添えて EA Designer Kuu までご連絡ください。

9. 免責事項

本書の内容は過去データの分析・検証結果に基づくものであり、将来の利益を保証するものではありません。外国為替・貴金属の CFD 取引には元本を失うリスクがあります。必ず余裕資金

の範囲で、まずは少額からお試ください。